

5

水路巡りコース
～四季いろどりの散歩道～
友呂岐緑地から水路をめぐる

新寝屋川八景を訪ねる散策コース



友呂岐緑地

裏面地図★印の場所には、写真のようなルートサイン（説明や地図板のついた石像）があります。八景を巡って、様々な表情の鉢かづき姫を、探してみてください。

★スタート★



★ゴール★

道順や各所の詳細については寝屋川市のホームページをご覧ください。
（右側のQRコードからアクセスできます）

※QRコードは㈱デンソーウェアの登録商標です。



※掲載内容は、2024年12月時点のものです。

1 友呂岐緑地 ともろぎりよくち

新寝屋川八景

桜木町～下神田町までの市内を南北に縦断する全長3.5kmの緑地帯です。昭和49年に併行して流れていた「友呂岐悪水路」と「二十箇用水路」の統廃合により生じた空地を活用して、桜などをはじめ四季折々を楽しめる植栽や児童公園などを整備して、市民の憩いの場として生まれ変わりました。寝屋川市駅前の「せせらぎ親水公園」を含めて友呂岐緑地として**新寝屋川八景**に選ばれています。



2 池田川村の野神さん いけだかわむらののがみさん

野神さんは「農神」とも呼ばれ、水田や五穀豊穡を祀る神様です。かつては市内の各村々に祀られていましたが、現在では少なくなっていました。池田地区はかつて川・中・下の3つの村に分かれていましたが、現在も各村で野神さんが祀られています。いずれの村でも、5月5日に農家で飼っている牛を参拝させていたそうです。池田川村では、この日には豆をまき、通りがかりの若嫁さんや娘さんにも投げかけたので、道が白くなるほどだったと伝えられています。



3 二十箇用水路 にじっかようすいろ

淀川から木屋の付近で取水して、寝屋川市北部の友呂岐6か村(郡・木屋・太間・石津・田井・平池)の水田に水を供給する用水路です。後に大利・神田が利用するようになり、さらに下流の門真・大東市域の村々も利用するようになり、友呂岐6か村以外の20か村が利用する用水路となったため、二十箇用水路と呼ばれるようになりました。木屋の用水樋は昭和3年に廃止され、幹線水路から取水されるようになり、石津より南側は友呂岐悪水路と一つになり廃止されました。現在の友呂岐緑地の北側の大部分は二十箇用水路の跡地が利用されています。



4 若宮八幡宮 わかみやはちまんぐう

旧石津村の氏神で、産土神社とも呼ばれていました。明治12年(1879)に八坂神社に合祀されましたが、昭和28年(1953)に地元の願いにより旧社地へ新たに社殿を建て、かつてのように祭礼が行われるようになりました。



◆若宮八幡宮の狛犬◆



5 寝屋川導水路 ねやがわどうすいろ

寝屋川下流域の治水と、寝屋川の浄化を目的に、淀川左岸の木屋元町と寝屋川右岸の桜木町の間の約1.7kmに建設された水路です。淀川側には太間排水機場、寝屋川側には水門や寝屋川浄化ポンプ場が設置され水量等の調整が行われています。寝屋川の浄化のため淀川から取水した水を寝屋川に流していますが、豪雨で寝屋川が氾濫の危険となった場合、逆に寝屋川の水を淀川に流し、ポンプ場を利用して強制排水します。



6 幹線水路 かんせんすいろ

淀川に立派な文禄堤が築かれた後、淀川から直接取水することができなくなり、淀川沿いの村々は、個々に堤防内に樋を設置して取水を行っていました。しかし、堤防内に構造物を設けることは堤防の力を弱めることとなります。このため、昭和3年に枚方市から大阪市毛馬までにあった8か所の樋を廃止し、新たに枚方大橋東側に大樋管を設置して、淀川に沿って堤防の外側に大規模な用水路を建設しました。これが幹線水路です。水路の両側にはサクラが植えられましたが、年を経て枝が水路に張り出すようになり、春には市内の花見の名所のひとつとなっています。



7 生物多様性センター せいぶつたようせいせんたー

昭和30年、大阪府水産試験場寝屋川養魚場として現在の地に設置されました。府内の水辺環境やそこに生息する生き物を守るための調査研究機関です。平成19年からは水辺の生物多様性保全のための拠点施設として新たに発足し、平成30年に名称を大阪府立環境農林水産総合研究所「生物多様性センター」に改称し、大阪の生物多様性の把握・評価・保全・普及についての調査研究に取り組んでいます。
※施設は自由に見学できます。

■開館時間：平日9：30-17：00■
（※12月～3月は16：00まで）



8 鞆呂岐神社 ともろぎじんじゃ

美しい彩色で流造りの本殿をもつ神社です。境内の奥に「寄進の鳥居」と呼ばれる鳥居があります。「忠臣蔵」の題材となった、いわゆる赤穂事件で有名な赤穂浪士のひとり、村松喜兵衛秀直の四代目の子孫が寄進したもので、鳥居にはその名が刻まれています。



◆鞆呂岐神社の狛犬◆



寄進の鳥居

新寝屋川八景を巡る散策コース 水路巡りコース

市内のいたる所に流れる水路は、水と共に暮らしてきた寝屋川市の歴史と深く関わっています。
これらの水路をたどりながら、水と共生してきた痕跡を見つけて、今よりもっと水と密接に暮らしていた時代に思いを馳せてみませんか…

■距離：約 6 km ■所要時間：約 2 時間

スタート：京阪寝屋川市駅（西口）

0.3km／5分 ※距離・所要時間は目安です。

1 友呂岐緑地 新寝屋川八景

1.0km／17分 ★休憩 ベンチ・WCあり

2 池田川村の野神さん

0.2km／4分

3 二十箇用水路

0.6km／10分

4 若宮八幡宮

0.6km／10分

5 寝屋川導水路

0.9km／15分

6 幹線水路

0.4km／7分

7 生物多様性センター

0.5km／9分 ★休憩 ベンチ・WCあり

8 鞆呂岐神社

1.3km／22分

ゴール：京阪香里園駅（西口）

発行：寝屋川市文化スポーツ室

